

RI第2620地区 静岡第3分区

沼津柿田川ロータリークラブ



RI会長 田中作次
 RI第2620地区ガバナー 高野 孫左エ門
 会長 野口 郁夫
 幹事 高田 聡
 例会日時 毎週月曜日 12:30点鐘
 例会場 沼津卸商社センター 2F
 〒411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203
 TEL 055-971-6500
 事務局 〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方
 TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322
 E-MAIL officework@rcj-nk.org

会長挨拶



第1444回例会 会長挨拶

会長 野口郁夫

沼津ロータリークラブ様には日頃より大変お世話になっております。また本日はガバナー公式訪問につき、会場準備等々でもお世話になりまして心より感謝申し上げます。

例会開催の前に高野ガバナーとの協議会が行われました。3月のPETS、4月の地区協議会にて高野ガバナーの活動方針を聞き理解はしていましたが、本日ガバナーと直接話をする事で、今まで以上に考え方が理解できたと感じました。本日のご教授を忘れずに、本年のロータリー活動に取り組む所存であります。

私は本年度のクラブ会長テーマを「絆」とさせていただきます。「クラブ会員同士の絆」「近隣クラブさんとの絆」「分区・地区・RIの絆」そして「地域の方々との絆」、人と人との繋がりを大切にロータリー活動が出来ればと考えています。田中作次RI会長の他人に対する思いやりが平和をもたらす。また、高野ガバナーは「つながり」を実感し、ロータリーを伸展をと言われております。ロータリーは人と人との集まりです。そこから多くの奉仕が生まれます。ロータリーの原点を忘れずに、本年の活動が実り多くなるよう努力します。

本年一年宜しく願いいたします。

幹事報告

■ 事務連絡 ■

- * ガバナー事務所より
ガバナー公式訪問のお礼状 到着
派遣学生帰国報告会&受入学生ホームカントリー紹介 到着
- * 米山記念奨学生学友会より
会報Vol. 3 到着
- * 長泉RCより
クラブ計画書 到着
- * 富士宮西RCより
年次計画・報告書 到着

■ 例会変更 ■

- * 沼津西RC
8月9日(木)→納涼例会
8月16日(木)→裁量休会
- * 新富士RC
8月7日(火)→納涼例会
8月14日(火)→特別休会
8月21日(火)→20日(月)ガバナー公式訪問
- * 富士RC
8月15日(水)→特別休会
8月22日(水)→20日(月)ガバナー公式訪問
- * 御殿場RC
8月16日(木)→休会

■ 週報到着 ■

沼津西RC・長泉RC・新富士RC・富士RC・御殿場RC

本日のゲスト・ビジター

ビジター・ゲストはありませんでした。

スマイル報告

前田 守 高野ガバナー本日宜しく申し上げます。
 高田 聡 本日宜しく申し上げます。
 伊藤 毅 本日宜しく申し上げます。

ガバナー公式訪問

沼津ロータリークラブとの合同例会です。場所は沼津リバーサイドホテルでした。



第2620地区ガバナー 高野孫左エ門 様

最初に、昨年一年間当地区のガバナーをお務めになられ、無事任務を終了されました積惟貞直前ガバナー、積年度を支えられる様々な役割や任務を分担されました沼津RCの皆様方、そして積ガバナースタッフとしてご心労いただきました皆様方に感謝の意を表します。

当年度RI会長田中作次さんの掲げられたテーマは「奉仕を通じて平和を」です。多様な人が多様な価値観で平和を感じることができるよう、我々は職業を通じてその実現に努めていきましよう、というのがテーマの意味と理解いたしました。では、職業を通じてとはなんでしょう。自らの仕事が地域の中で有用であること、人から役に立っていると思われるよう仕事を作っていくのが職業奉仕としての第一歩だと思います。10月13日に職業奉仕セミナーを開催いたしますので、ぜひご参加いただきたいと思います。

次に地区目標についてお話し致します。沼津ロータリークラブの前年度の「R財団への一人100ドル寄付」は、残念ながらおおむね半分で着地されてしまいました。R財団への寄付自体は恒久基金への寄付もあり、達成いただいております。寄付にあたっては、このお金がどうなるのか、何に使われているのか、どういう成果を生み出しているのか、ということに是非目を向けていただきたいと思います。

少し話題を変えさせていただき、私自身のことをお話ししたいと思います。私の仕事は現在大きく2つございます。吉字屋本店という、今年創業444年の会社の代表取締役として、主に石油製品の卸小売と、山梨トヨペットというトヨタのカーディーラーの社長をしております。吉字屋の創業は塩屋でしたが、時代の移り変わりとともに取扱商品を増やし、現在の姿があります。今何が必要とされているのか、そしてこれから必要とされるのは何かと代々の孫左エ門が考えて対応してきた歴史の積み重ねですが、この444年の歴史はこれからの5年を保証してくれるものではありません。それを戒めるため我が家には「最古にして最新たれ」という家訓があります。振り返れば最古だけれど、やっていることは常に

先端で、何が必要なのかを探り対応していく、これが我が家の代々続いてきた方法論なのだと思います。

ロータリーも長い歴史があり、100年以上続いています。社会の変化、環境の変化に対応しながら折々にやるべきこと、やろうとすることを変えてきています。音楽家のグスタフ・マーラーは「伝統とは怠惰のことだ。」という言葉を残しています。ロータリーも伝統に頼らず変わらなければなりません。置かれている環境は間違いなく変化しています。皆さんも仕事を通じて変化を感じ、生き残るためにその変化に対応する活動を続けていってほしいです。ロータリーにもそのエネルギーと気持ちを是非持ち込んで下さい。

沼津柿田川ロータリークラブのお話も伺わせていただき、小さなクラブには小さなクラブの強みがあると感じました。これが自分たちの真骨頂だという金字塔を打ち立てていただければ地域社会におけるロータリーの意義を高めることができると思います。また沼津ロータリークラブは、女性会員の排除を全くなされず、むしろ受け入れている。そして変化することに果敢に挑戦していらっしゃるという印象を持ちました。

最初の公式訪問で、そんな二つの象徴的なクラブが合同例会を開催してくださり、大変良かったと思います。これからも、この人とは思った方を仲間にし、ロータリーに入って良かったと思えるようなロータリーライフを送っていただきたいと思います。

自分自身のガバナーの役目については、積直前ガバナーから引き継いだ樽をどのように志田エレクトに渡すかを考え、やっていきます。一年間どうぞよろしく申し上げます。

(一部要約・抜粋)



会場の様子

◆次回例会プログラム◆ 各委員会委員長就任挨拶

出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席計算に用いた出席者	出席率	7月2日修正出席率
15名	15名	14名	93.33%	93.33%

出席：古泉・太田・原・野口・前田 他 計14名

欠席：横山 計1名

MU: 計0名